



市民ワークショップの開催

NO	開催日	参加者数	検討プログラム(話題提供・検討テーマなど)
第1回	令和7年 8月9日 (土)	18名	【はじめに】 ①中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想(素案)について ②にぎわい創出拠点の市民ワークショップのスケジュール ③対象地の確認 【話題提供】 『構想づくりのポイント—拠点での姿を描く!!』 【検討テーマ】にぎわいを生み出すために ①にぎわい創出の拠点到期待すること ②対象地でどのような“にぎわい”の姿がイメージされるか?
第2回	8月23日 (土)	20名	【報告】 ①高校生のグループインタビュー実施結果 ②前回ワークショップの振り返り 【話題提供】 『人の気を惹く創出拠点のために—ターゲットと活動内容』 【検討テーマ】ターゲットを意識したにぎわいづくりのために ターゲットのニーズ・欲求を想定したにぎわいの姿・活動と実現のための機能・施設・サービス ※想定したターゲットは次の6タイプ ①ファミリー層・親子で楽しめる拠点 ②若者・高校生等が楽しめる拠点 ③シニア層が楽しめる拠点 ④女性が行きたくなる拠点 ⑤ペットと一緒に楽しめる拠点 ⑥子どもたちだけでも楽しめる拠点 ファミリー層・親子で 楽しめる拠点 ペットと一緒に 楽しめる拠点
第3回	8月30日 (土)	19名	【報告】 ①前回ワークショップの振り返り 【検討テーマ】続・ターゲットを意識したにぎわいづくりと、 「情報」「交通」について ①“ひとりでも楽しめる”にぎわい創出拠点のイメージとサービス ②拠点を訪れるきっかけづくり(情報発信の効果的な方法)と 利用者の交通手段を想定した受け入れの仕組みづくり 【総括】みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会 (9/24)への報告について 一多層的な空間づくりに向けて (にぎわい創出に向けて多様な期待が重なる拠点づくり)

市民ワークショップの6つの総括

ポイント① 目標をどこに置くかが大切・・・整備後の活用・市民の関わりこそが重要!!

市民ワークショップでのにぎわいづくりのアイデアの多くは、施設完成後に多くの市民が訪れる拠点となることを目指したものである。拠点施設の完成を目標とするのではなく、完成後、様々な方々が施設を訪れ、思い通りの活動をする場所として利用されることが大切である。

多文化共生も含めて人と人とが実際に交流すること、交流を通じて新たな楽しみが享受され、伊勢崎での豊かなライフスタイルが実現できること等、整備後にも市民が何らかの関わりを持って拠点の魅力を高めつづけられることが大切である。現在の若者・学生たちが家庭をもって、3世代で訪れる姿もイメージした拠点づくりを構想されることに期待したい。

ポイント② 来訪に期待するターゲットのニーズを想起することでにぎわいの姿がみえてくる

拠点への来訪が期待されるターゲットを絞って討議したことから具体的なかつ多様な活動の姿がイメージされ、その実現のためのサービス・施設が提案された。

にぎわい創出拠点の整備においては、機能・施設ありきではなく、来訪が想定される様々なタイプの人々のニーズ(需要)とウォンツ(欲求)に沿って活動をイメージして、そのために必要なサービス・施設の導入を検討すること(施設ありきではなく活動ありきの思考)に注力いただきたい。

ポイント③ ターゲットとなる来訪者のライフスタイルに応じて拠点を“シェアする”こと!!

来訪が期待されるターゲット層により、来訪したくなる時間帯や曜日等が異なる。同じ空間・施設(諸室)においても、曜日や時間帯を組み合わせることで稼働率は向上する。

にぎわい創出拠点を一週間・一日の中で空間を“シェアする”という考えを持つことで、空間や諸室が多層的に稼働し、にぎわいが生み出されることにつながるものとなる。

ポイント④ 拠点完結ではなく拠点からの“にじみ出し”が大切、回遊を誘発することにも!!

すべての活動ができる機能・サービスをこの拠点到詰め込むのではなく、駅前や本町通り等、周辺へと“にじみ出す”ことも大切。それにより中心市街地での回遊が生まれてくるものとなる。

にぎわい創出拠点での整備をきっかけに、現図書館の跡地利用や中心市街地全体での歩いて楽しめる回遊の仕掛けづくり等も併せて検討されることに期待したい。

ポイント⑤ 中心市街地の回遊につながる駐車場の適正配置も考慮した整備に期待!!

自家用車依存の高い地方都市において駐車場の確保は大切な集客要因である。にぎわい創出拠点に多くの来訪者を誘客し、滞在時間が長くなれば、駐車場の回転率は低下し、駐車場の空間占有率は高くなることが予想され、広場面積が狭くなることが予想される。

第三のにぎわい創出拠点整備にあたり、中心市街地内における公共交通機関の充実や中心市街地全体での回遊を意識した駐車場の適正配置等にも考慮されることに期待したい。

ポイント⑥ 安心感を生むためには災害への備えは必須!!

“安心感のある拠点”となることを期待する背景には、安全・安心な拠点を形成することにある。そのためには災害への備えも必要である。酷暑への対応も、災害級の酷暑とすれば、災害への備えの一つといえる。

今後の公共施設の整備においては、緊急時の来訪者への安全確保は必須であり、最低限の防災機能は備えておくことが求められる。

にぎわい創出拠点に期待すること

にぎわいを生む要素

■人がたくさんいること

- 「家族全員が…」「お年寄りと子どもが…」「親子で…」
- 「子どもたちだけ」でも楽しめる
- 「女性」が行きたくなる
- 「ひとりでも」
- 「ペットと一緒に」 等

■気軽に訪れることができること／一人でも気まずくないこと

■行きやすいこと(交通の充実/安心・安全/夜遅くても……)

■若者の気を惹く(ウケる・映える)こと

■食&ショッピングが楽しめること

イメージ・キャッチ

■サードプレイス(第3の自分の居場所)

■気軽に立ち寄れる場所に／ゆっくりと楽しめる場所に／時間をつぶせる場所に…

■わざわざ電車で行きたくなる

■自由度の高い施設

◆◆◆ 他にもこんなキーワードも出されました！ ◆◆◆

『笑顔』『会話・交流(世代を超えた交流)』『つながり』『学習』『共生』『文化・情報』『わくわく』『懐かしさ』『多文化共生(外国人も楽しめる)』『参加性』

にぎわい創出拠点整備から生み出されるもの

■経済の持続と発展

■伊勢崎を自慢できる／全国から注目される

■伊勢崎の歴史がわかる

■子育てしやすい

■子ども一人でも楽しめる

■ものづくり(織物)の町としての再生

■施設内だけでなく屋外でも楽しめる

■周辺(駅周辺や本町通り等)への回遊も～

拠点をイメージされるにぎわいの姿

機能	イメージされる“にぎわい”の姿
全体イメージ	□行ってみたくなる施設に!!／みんなが楽しめる施設に!!／周辺とのつながりを!!／「この町に生まれてよかった」と感じられる空間を!!／伊勢崎の原風景になれば… □環境に配慮しオシャレな施設に(見栄えは大切!!) □自慢できる拠点到 □赤石染舎と連動した拠点整備を…
図書館・情報	□静かな場所と話のできる場所を区切った施設／勉強や仕事ができる空間／学習室の充実／ソファの設置／防音室(カラオケ等) □体験型施設／VRコーナー／趣味の部屋／無料ジム／趣味やサークル活動ができる施設 □明るくて広いエントランス／みはらしの良い屋上空間／壁面活用 □購入もできる図書館／本屋の併設 □カフェ併設／食べながら学習できる図書館／睡眠コーナー／ジム・シャワー／ブリクラ機 □イベント開催(映画鑑賞、読み聞かせ、地元作家・著名人の講演等) □外国人居住者の母国の本の充実、マンガ本・ポップ文化コーナーの充実 □ワンコインサービス、カフェ、乳幼児の利便施設 □開館時間の延長化・365日開館を希望、多くの鏡を… 等
織物文化・銘仙	□織物文化として…「文化継承だけでなく新たな文化として展開」伊勢崎民謡・伊勢崎の歴史 □デジタル技術の活用／ガイド解説 □銘仙リバイバル:織物体験、銘仙を使ったリメイク古着(SNS映え) □銘仙を活かしたもののづくりワークショップ・グッズの創出 □銘仙のファッションショー開催、お土産物の販売 等
創業・チャレンジ	□創業・チャレンジ…NPO等が使える貸し会議室／創業の相談窓口／コワーキングスペースの充実 等 □伊勢崎企業のPRコーナー(企業史)、学生限定の出会いの場を…
広場・屋外空間	□BBQ広場／屋上・縁日／チェアリング／キャンプ／ピクニック／手持ち花火／水遊び・噴水広場等 □スポーツ交流／3on3バスケット／散策・ウォーキングコース □音楽イベント・ステージ／桐生祭りのように踊りの場として □キッチンカーによる食の提供／食(地粉をつかったうどんコーナー、やきまんじゅうカフェ) □ドッグラン／キャットウォーク □古着等のフリマ □くわまる等のキャラクターと遊ぶ、大道芸人が活躍する場 □屋外映画館／パブリックビューイング □足湯(冷・温、ナイト足湯、流れる足湯、足湯カフェ、足湯BAR) □自然との一体感／自然豊かな空間／憩いの空間 □遅くまで利用できるバスの運行を!! 等
まちなか(にじみ出し)	□レンタサイクルの設置、駐輪場の充実 □循環バスによる駐車場との連携(地域外の駐車場とのシャトル運転) □赤石染舎との連携、ペット関連のサービス(隣接地) □伊勢崎駅からのアプローチに街路樹を!! □駅前から拠点につながる水路、駅前温泉施設

【参考②】ターゲットのニーズ・欲求を想定した“にぎわい”の姿・活動と実現のための機能・施設・サービス

P.3

※第2回市民ワークショップ(8/23)、第3回市民ワークショップ(8/30)での討議内容結果より

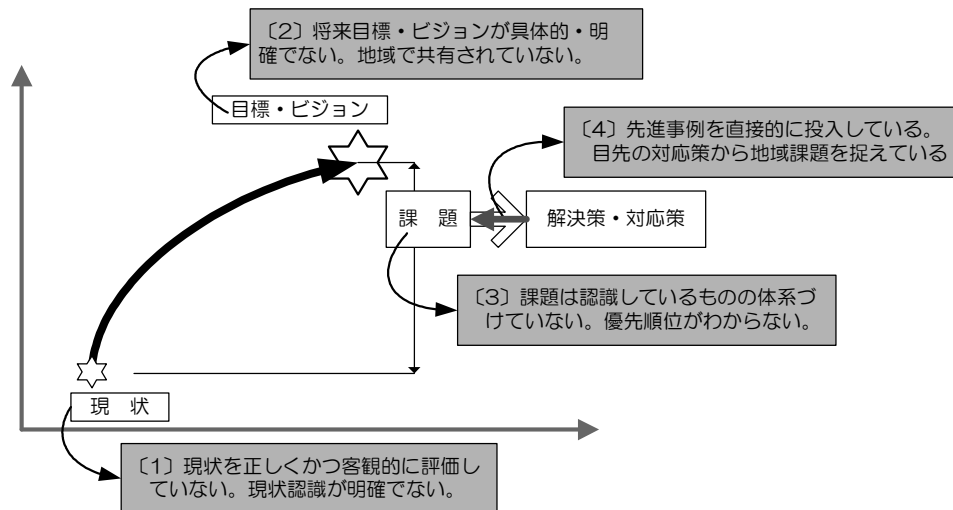
ターゲット想定	期待される“にぎわい”の姿・特徴的な活動	図書館・織物・伝承機能/創業支援機能	広場	その他
シニア層が楽しめる拠点 (60歳以上・孫がいる世代) 	☐ 若い世代と交流やふれあいの機会になったり、 子どもや若い世代に教える (囲碁や将棋、料理など)/ 若い人から教わる ことができるような 多世代の交流の機会 となるようにする。 ☐ 歴史や資格の講座、スマホ教室、ゲームや健康麻雀、伝統芸能、名画座、ヨガ・フラダンス・カラオケ・料理・編み物などのサークル活動と発表の場、軽運動や体操できるスペース、相談コーナーや意見箱(議員への陳情や困りごとなど)、行政窓口(住民票や戸籍など)、エレベーター	☐ 静かに本を読むことができる スペース と、井戸端会議のように おしゃべりしたりゆっくり休憩したりできるスペース を分ける。 ☐ 自身の勉強や学び、娯楽、スポーツ・健康づくりのほか、趣味やサークル活動(健康麻雀など)ができる施設にする ⇒ いろいろな使い方ができるように ☐ 孫と一緒に過ごすことができる(散歩や絵本を読む、トランプ、卓球、ジジババと孫だけで来られる) ☐ じっくり終活に向き合う「終活コーナー」	☐ 散策やウォーキングコース、ベンチ、花や自然を楽しめる	☐ 無料バスなどの交通アクセス ☐ 駅や周辺施設との接続(駅や赤石桑舎との空中通路や川でつなぐ) ☐ お年寄り割引、営業時間(朝早くから利用できる)
若者・高校生が楽しめる拠点 	☐ 施設の内外で、笑顔、ぬくもり、人情味があふれ、施設での体験・経験を通して、 伊勢崎(ここ)に住みたい、結婚したい、子育てしたい と思ってもらえたら最高！若者たちが振り返ったときに、 伊勢崎の原風景 となるような施設となしてほしい。 ☐ 友だちとワイワイ集って(カップルで)、歌ったり、くつろいだり、運動したり、食事をしたり、共通の趣味で楽しんだり、写真を撮ったり、まちあわせに使ったり、時には集中して勉強をしたり、思い思いの楽しみ方で過ごすことができる『 自由度の高い 』施設。 ☐ 車で移動できない若者が、近隣市から わざわざ電車で来たくない ような施設	☐ 図書館… マンガ本 充実度県内一、 ポップ文化 (アニメ、漫画、キャラクター)コーナーの充実、バランスボールの椅子、学習室、個室の多目的スペース(夜間あいている)、横になれるようなスペース、ジム・ シャワー (部活後の汗を流す)、 防音(カラオケ)ルーム 、カフェ(個性的な/プチプラフードの充実)、 プリクラ機 、赤城山・粕川が展望できる場所等 ☐ 織物・伝承機能…織物だけでなく、 伊勢崎の民謡 の伝承等 ☐ 創業支援…学生限定の 出会いの場 (異性との出会い/先輩との出会い)等	☐ 足湯(イルミネーション/ひよこ)、ベンチ、屋外映画館 ☐ マイナー運動施設等 ☐ キッチンカーによる食の提供 ☐ スポーツ交流、3on3バスケット	☐ ボイ活(来館ごとにISECAポイント付与 等) ☐ レジはあえて有レジ(人情味ある交流の場) ☐ 学割 ☐ 夜間も使えるフリースペース
ファミリー層・親子で楽しめる拠点 	☐ 親子、三世代が「安心」「楽しみ」「知育」をキーワードとして『 拠点全体で一日過ごせる 』ような施設・サービスを提供する。 ☐ 特に 乳幼児の便利施設 の充実(おむつ替えスペース、授乳スペース、子どもトイレ、乳幼児も気兼ねしない食事スペース、ベビーカー置き場)等 ☐ 外国籍のファミリーの交流ができる 多文化共生に関する機能・サービス 等	☐ 図書館…それぞれの年代を象徴する書籍の充実、絵本等の読み聞かせ、学習発表会、会話ができるスペース、多文化共生(様々な言語・国の書物の充実)等 ☐ 織物・伝承機能…伊勢崎の歴史等にも広げた展示、地元企業の歴史等 ☐ 創業支援…職業体験施設、親子で楽しめる体験型施設、ものづくり体験等	☐ 手持ち花火 ☐ 音楽イベント、農業体験(市内生産者との交流) ☐ 運動スペース、水遊び ☐ チェアリング、キャンプ、ピクニック ☐ 外周部にテラス席	☐ 冷・暖の確保等
子どもたちだけでも楽しめる拠点 (小中学生) 	☐ 子どもたちが安心して利用できるための、 防犯対策や見守りなど大人の関わり (大人の監視員、気軽に話ができる大人)や 居場所づくり (フリースクール的な相談室)、子どもの利用時間を分ける、オンラインの入館証(親に通知が届く仕組み)	☐ 子ども向けの図書の蔵書ほか、本を探す相談機能なども ☐ さまざまな体験 (ものづくり、科学、料理、文化、お仕事体験、eスポーツ)、運動やスポーツ(サッカー、バスケット、バドミントン、卓球)、ゲームやアニメ、昔遊びなど ☐ 勉強や宿題、習い事(学習室、プログラミング教室、子ども新聞、タブレット貸し出し)ができたり、 勉強を通じて違う学年と交流 (勉強を教えてもらう)できる		☐ 駐輪場の充実 ☐ 自販機や無料の給水機 ☐ 子どもを見渡せる空間のしつらえ
女性が行きたくなる拠点 	☐ 気兼ねなく 長時間ゆっくり会話 をしたり、落ち着いて 食事 を楽しんだり、 おしゃれを楽しんで 写真を撮ったり、 推し活 をしたり、 健康や癒し を感じられるような施設 ☐ 夢と未来が妄想できる、 新たな自分 が発見できる、 物語(ストーリー)が語れる場所	☐ 図書館…幼い子どもを 安全に遊ばせられる スペース(ママ友と話をしながら)、 日本一のトイレ (メイクスペースの充実)、保育園や病院の口コミなど、子育て情報が共有できるコーナー、 鏡を多く設置、カフェ (おしゃれ/プチプラ)等 ☐ 織物・伝承機能…ヴィンテージものを使ったアクセサリ作り体験 ☐ 創業支援…アクセサリ作り、編み物などママが 1日チャレンジワークショップ をできるような場所、 創業相談機能、伊勢崎企業のPR コーナー等	☐ 子ども連れで子どもも騒げるような、 わいわいガヤガヤ広場	☐ ワンコイン サービス(ドリンク+フード/ マッサージ)、 ☐ おしゃれなBGM 、K-POP関連 ☐ 男性と出会える場、気軽に 婚活 登録 ☐ いろいろな 占い ・相談 等
ペットと一緒に楽しめる拠点 	☐ ペットを通じた交流・コミュニケーションの拡大 が期待される。 ☐ ペットと一緒に食事サービス、ドッグラン・キャットウォーク等の設備、フотスポットの設置、ペット一時預かり所、ワンちゃんファッションショー等の拠点への導入も期待される。	☐ 創業支援として、ペット関連のビジネス(動物病院・診療施設、ペットの健康相談、ペット相談窓口、ペット美容室(トリミング)、ペットのおもちゃやペットフードの販売、ペット衣料等)として、周辺での創業によりペット連れで訪れるきっかけづくりにもなる(ペット関連での拠点周辺への波及効果)		

※いずれの想定ターゲットがひとりで訪れても、「気まずくなくひとり時間を楽しめる」ようにするとともに、「ひとり」が集まっても誰かと交流でき、絆やふれあいを感じられる施設となることが期待される。

話題提供①

【第1回WS】構想づくりのポイントー拠点での姿を描く!!

構想・計画づくりで陥りやすい4つのポイント



正しく・客観的に地域の課題を認識・共有化できないことの問題点の所在

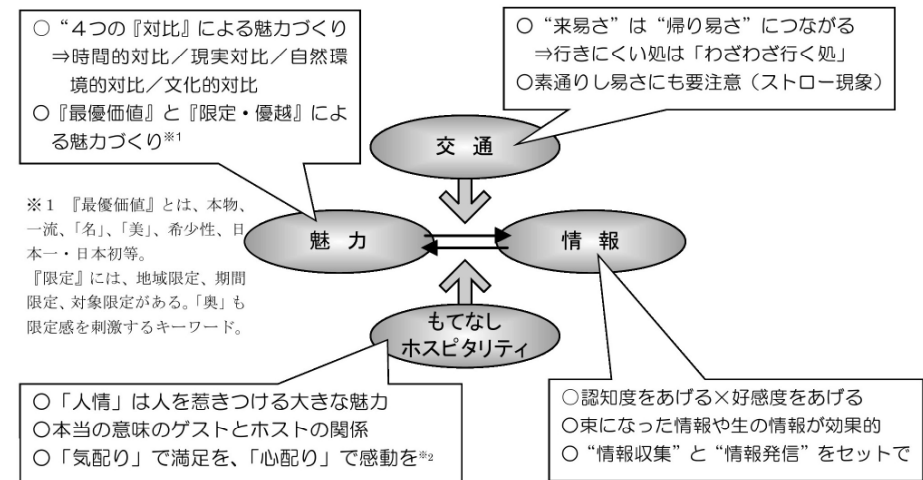
- 市民ワークショップでのにぎわいづくりのアイデアの多くは、施設完成後に多くの市民が訪れる拠点となることを目指したもの。
- 拠点施設の完成を目標とするのではなく、完成後、様々な方々が施設を訪れ、思い思いの活動をする場所として利用されることが大切。
- 整備後にも市民が何らかの関わりを持って拠点の魅力を高めつづけられることが大切。



話題提供②

【第2回WS】人の気を惹く地域となるための4つの要因

- ①【交 通】～“行き易さ”と“帰り易さ”そして“素通りし易さ”に要注意
- ②【人を惹きつける魅力】～4つの対比、最優価値、限定・優越
- ③【情 報】～認知度をあげる×好感度をあげる
- ④【ホスピタリティ】～地域ぐるみでの展開



※2 『気配りで満足を、心配りで感動を』は、千葉県香取市佐原の佐原おかみさん会の活動のスローガンとなっている。

出典：帝京大学観光経営学科『観光まちづくり論Ⅱ(大下担当)』、第2講レジュメ

【交通】広場空間確保>敷地内駐車場への配慮に期待

- 駐車場確保は大切。必要な駐車容量の確保により広場空間が狭くなるのであれば、駐車場よりも広場の確保を優先したい。
- 拠点周辺も含めた駐車場の確保（現図書館での跡地利用を含む）、公共交通機関のサービス密度（運行本数）向上とルートの再考、駐輪場の確保、歩いて楽しいルートの創出の空間づくりも。

【情報】検討段階からの専用サイトによる情報発信に期待

- にぎわい創出拠点における様々な検討段階からの情報発信を。
- 拠点オープン後は、民間団体との連携によるサイトでの情報発信を。

【魅力】ターゲットを想定した拠点での活動を意識した施設整備を!!

- 【参考資料②】を参照されたい